

第5回「原子力に関する倫理研究会」開催ご案内

(社) 日本原子力学会 倫理委員会

日時：2005年11月2日(水) 13時30分～17時30分(受付：13時10分から)

場所：東京大学工学部12号館 講義室126(2階)

(〒153-8505 東京都文京区根津2-11-16 TEL: (03)5841-7419 ※研究会当日のみ利用可)

会費：一般5000円 / 学生：無料

<テーマ> 原子力関連組織を活性化させるCSR活動のあり方について

<趣旨> 近年、企業の社会的責任(CSR)に対する認識が高まり、国内外での議論が盛んになっています。しかし、CSRは、企業・組織倫理を包含する広い概念を有しているにも拘わらず、我が国における取り組みには、既存の環境への取り組みを中心としたものも少なくありません。また、CSR活動の必要性が必ずしも組織構成員に理解されておらず、担当者以外の組織構成員がCSR活動の自らへのメリットについて認識がなされていないとの指摘もあります。

こうした背景を受け、第5回目となる原子力学会倫理研究会では、第3回研究会：「CSRとは何か」に続き、「原子力関連組織を活性化させるCSR活動のあり方について」をテーマに、再度CSRに焦点を当てることといたしました。前半は、委員長挨拶、委員会の活動紹介につづき、本年9月に委員会が賛助会員に対して行った「原子力関連組織のCSRに関するアンケート調査」の結果報告を行い、続いて①多くの企業でCSRや危機管理のコンサルティングを実施している㈱インターリスク総研の田村様より日本におけるCSRの取り組みの現状を俯瞰しながら、具体的にどういった取り組みを行うべきか。②人事の立場から地域社会や社員といった人に関わる活動を担当している日本ゼネラル・エレクトリック㈱の内藤様よりGEのCSRの取り組みが社員にどのように受け入れられているか。といった、いずれも具体的かつ実践的なCSRに関する基調講演を2件賜ります。後半では、現状のCSR活動に関する話題提供を契機に、ご講演者のみなさまにもご参加いただきながら「原子力産業従事者の元気を生むようなCSR活動」について、目指すべき方向性や現状とのギャップを埋める方策等について、フロア全体で議論いたしたく考えます。

皆様、奮ってご参加頂きますようお願い致します。

<プログラム> 事情により内容を変更する場合があります。ご了承下さい。

[敬称略]

13:30-13:35	開会		研究会事務局
13:35-13:45	委員長挨拶	(倫理委員会委員長・京都大学名誉教授)	西原英晃
13:45-13:55	倫理委員会の活動報告ー第2期の活動を終えるにあたってー	(倫理委員・金沢工業大学)	大場恭子
13:55-14:25	原子力関連組織のCSRに関するアンケート調査結果報告	(倫理委員・福井工業大学)	中安文男
14:25-15:25	CSR取組の要諦	(㈱インターリスク総研)	田村直義
15:25-16:10	GE流CSRの取り組みー社員にとってのCSRとは	(日本ゼネラル・エレクトリック㈱)	内藤佳子
16:10-16:20	休憩		
16:20-17:25	パネルディスカッション：原子力従事者の元気を生む、目指すべきCSRとは		
		モデレータ：(倫理委員会幹事・東京大学)	班目春樹
		パネリスト： 講師	田村直義
		講師	内藤佳子
		(倫理委員・東京電力㈱)	磯輪潔
		(倫理委員・㈱日立製作所)	小沢通裕
17:25-17:30	閉会		研究会事務局